

青森県立保健大学附属図書館だより

Rapport

13

OCTOBER 2009 NUMBER

副学長

上泉和子

「創立 10 周年記念事業について - Milestone - 」 2-3

先生おすすめ

「読書の秋」にこの一冊 4-7

片山綾乃
小池祥太郎
中村由美子
本間ともみ
山本春江
福島真人
藤田智香子
大竹昭裕
大和田猛
浅田豊
向井友花

シリーズ“図書館を使いこなそう” 第13回

各種データベース等の紹介 8-11

青森県立保健大学 副学長

上 泉 和 子


「創立 10 周年記念事業について - Milestone - 」

2009 年度は記念すべき 10 周年の年にあたります。今年の学園祭のテーマは、「らせらでつなぐ架橋 - 10 年は通過点に過ぎない - 」でした。10 年目が通過点であるということは、この先もっともっと、本学は発展し進化することを期待してのことかしら？などと、勝手に解釈しながら、10 周年はどのような意味があるのか、そして私にとってはどんな意味があるのかしらと考えてみました。結論からいえば、私にとって 10 周年は、“Milestone (一里塚)” であると思います。歴史を“道”にたとえると、“石”は節目節目の出来事とでもいいでしょうか。10 周年記念事業の推進を任された立場で、2009 年度は年間を通して様々な記念の事業を学生、教職員、皆で行いながら 10 周年を祝い、この一年が皆様一人一人の Milestone にできたらいいなと思っています。

10 周年記念事業の準備は 2008 年から始まりました。記念式典の計画や記念誌の編

纂をはじめ、なにか楽しいことをしたいと考えていましたが、「一年間、いろいろなことをやろうよ！」という学長の発案を発端に、たくさんの企画が生まれました。

10 周年記念事業のスタートは、開学記念日に執り行われた開学記念式典でした。日野原重明氏の記念講演、本学への功労賞の表彰、下北在住のマミーシノさんの天使のような歌声の記念コンサートなどが行われました。日野原重明氏は、わが国に看護系大学が 10 校しかなかったごく初期の時代に学長をされ、以来、保健医療福祉系大学の発展の“礎”を築いたお一人であります。日野原氏の講演は、本学の来し方行く未を思う、本学のまさに“Milestone”になったのではないのでしょうか。私事ですが、日野原氏との思い出が一つあります。25 年前、「心理・生理学的アプローチによる最新内科・外科系臨床看護学全書 (全 10 巻)」の訳出にあたった時のこと、日野原氏が監訳者でしたが、“本”づくりを初めて経験した



のがこのときでした。以来本を書く機会が何度かありましたが、この経験は私にとって“本”づくりの貴重な Milestone となりました。この日図書館では 10 周年記念図書フェアが開催されており、日野原重明氏の図書を紹介してくれていました。講演を終えた日野原氏が図書館を訪れ、フェアを見てたいへん喜ばれました。最後に「他にも最新のものがあるよ！」と、一言。しっかり宣伝も忘れてはいませんでした。最近では“生き方上手”が日野原氏の代名詞になりましたが、多岐にわたるテーマへ取り組み、それを著し、さらに多くの人たちに読んでもらうための努力をすること、こうした強い信念を持つことを私はたくさん学びました。

学生たちが中心となって進めてくれている事業として、「光の森プロジェクト in 県立保健大学」、「記念ねぶた制作」、「タイムカプセル」があります。光の森プロジェクトでは7mを超すヒバの巨木が、彫刻家の向井勝實氏と学生、地域の方達とで、順調に制作されています。記念ねぶた制作には、著名なねぶた師である竹浪比呂夫氏の指導のもと、保健大学にふさわしい、疫病除けや学業成就の神様である「鍾馗様」を題材に、ねぶたが完成しました。また、“モーリーとリンリン”というマスコットが誕生し、あちこちに登場するようになりました。

10 周年の事業を進めるにあたり、「学生の自主的活動を支援する機会としたい」、「地域の方々へもっと保健大学を知ってもらいたい」という思いを持って、事業に取り組んできました。このような大学の思いが、次の 10 年、20 年に受け継がれていくよう、2009 年が“Milestone”になることを願っています。

看護学科

理学療法学科

社会福祉学科

栄養学科

片山綾乃先生



『強運の持ち主』
瀬尾まいこ
文春文庫刊
2009

913.6 || Se76

仕事を辞め占い師になった元 OL が、占いに来るさまざまな人と出会い自分自身も変化していくお話です。正しいことを教えるのが占いではなく、その人がよりよく前を向いて進んでいけるようにちょっと背中を押すことが大切、ということは少しだけ看護の視点にも通じるものがあると感じました。人との出会い、つながりを大事にしたいと改めて思うことができる作品です。

小池祥太郎先生



『続・病院で死ぬということ：
そして今、僕はホスピスに』
山崎章郎
主婦の友社 1993
文春文庫刊 1996

916 || B99 || 2

医師と患者のよりよい関係性の構築が描かれていると思います。また、患者の欲求にどのように答えていくか、悩みながらも答えを出さなくてはならない現場の葛藤を感じることが出来ます。看護の視点がないのが残念ですが、その分、「私ならどう援助するか？」と考えてほしいです。私はこの本を入院中に読んでいて、看護師さんに注意されました。「なんて題名の本を読んでいるの!？」

小池祥太郎先生



『やっと名医をつかまえた :
脳外科手術までの七十七日』
下田治美
新潮文庫
2002

494.627 || Sh51

書名から分かると思いますが、一人の患者の闘病記です。ですが、コメディータッチに描かれていて、一日で読めます。変な漫画より笑えます。ですが、私がこの方の担当看護師だったと思うと……。一度読んで、みなさんの感想を教えてください。



『ガン病棟のカルテ』
庭瀬康二
新潮社
単行本 1982
文庫本 1985

490 || N89

癌と戦う消化器外科医の姿がそのまま描かれている作品です。助けることが出来た患者ではなく、助けることが出来なかった患者との関係が多く描かれているのが特徴です。看護師の描く死は比較的穏やかなものが多い気がするのですが、庭瀬医師は非日常である死を忠実に伝えようとしていると思います。著者自身、2002年62歳で自分の専門の一つである胃癌で亡くなっています。

中村由美子先生



『リンゴが教えてくれたこと』
木村秋則
日本経済新聞出版社
2009

625.21 || Ki39

今、「奇跡のリンゴ」として脚光をあびている本県出身のリンゴ農家の方です。『自分がリンゴだったら、イネだったらと考えました』というように、自然とともに生きており、絶対不可能といわれたリンゴの無農薬・無肥料栽培を成功させています。しかし、「かまどけし」といわれ、リンゴが実らず死をも覚悟しても自分の考え方をとらぬいた姿には、頭がさがります。機械などの文明に頼りすぎている私たち、今一度自然の力を見直しましょう。

本間ともみ先生



『さよならエルマおばあさん』
大塚敦子
小学館
2000

490.15 || 088

絵本なのですが、エルマおばあさんの姿を通して、生きるということを考えさせてくれる1冊です。皆さん自身も、毎日の生活の中で自分が大事にしていることや、自分にとって大切な人たちのことについて考えてみてください。

看護学科

理学療法学科

社会福祉学科

栄養学科

山本春江先生



『臨床の知とは何か』
中村雄二郎
岩波新書
1992

490.1 | N37

哲学者の目からみた、臨床の知とは何かを、科学と対比させて説いている。看護における実践知、経験知、アートとは何か、悩んでいる皆さんにとって、解決の糸口が見つかることは間違いないと思います。



『天使のたまご：完全版 上・下』
岸香里
いそつぶ社
2005

492.9 | Ki56 | |1
492.9 | Ki56 | |2

『家族看護』の7巻1号の BOOKREVIEW でも紹介した一冊、いえ上下の二冊です。上は看護学生である天使のたまごが実習の場で出会ういろいろな家族のことが、下では、著者の家族(母)が入院したときの家族の立場に立ったときのことが描かれている。楽しくも深く考えさせるコミックでおすすめである。

山本春江先生



『他力』
五木寛之
講談社文庫 2000
幻冬舎文庫 2005

914.6 | I91

<他力>は、日本史上もっとも深い思想であり、すさまじいパワーを秘めた<生きる力>です、という著者の言葉どおり、自分の限界を感じたとき、自力でどうにもできなくなったとき、100のヒントのうちどれかはお役に立つと思います。

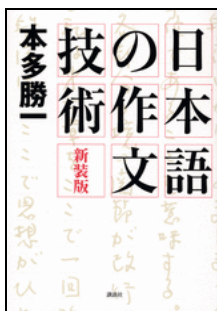


『ネットワークへの招待』
金子郁容
中公新書
1986

336.3 | Ka53

保健医療福祉の分野では欠かすことができないネットワーク、ネットワークとは何かをわかりやすく解き明かしてくれる。他にも連携、協調、組織づくりなどを考えるのに役立つ一冊。同じ著者の『ネットワーク組織論』(岩波書店)、『空飛ぶフランスパン』(筑摩書房)もおすすめです。

福島真人先生



『日本語の作文技術』
本多勝一
講談社
2005

816 | H84

本書の中には随所に具体例が提示され、非常に理解しやすい内容となっています。たとえば、白い紙、横線の引かれた紙、厚手の紙という3つの語句があります。これらを一つの語句にするにはどのような順序にしたら誰もが意味を間違えずにスムーズに読めるでしょうか。答えを知りたい方は是非一読してみてください。



『自助論：スマイルズの世界的名著』
サミュエル・スマイルズ
知的生きかた文庫
2002

159 | Sm4

タイトルからすると一見難しそうな本というイメージが湧くかもしれませんが、決してそうではありません。本の中には多くの人物の例が挙げられており、自分で自分の身を助けるためのヒントが書かれています。今から100年以上も前に書かれた本ですが、現在でも十分に通用します。読み進めて行くうちに心がスーッと本です。

看護学科

理学療法学科

社会福祉学科

栄養学科

藤田智香子先生



『リハビリテーション効果を最大限に引き出すコツ：応用行動分析で運動療法とADL訓練は変わる』
山崎裕司・山本淳一
三輪書店
2008
494.78||Y43

リハビリテーションの現場で、「対象者の方になかなかその気になってもらえない」「うまくいかない」等、悩むことが少なくないと思います。この本には、そんな現場のお悩みに応用行動分析に基づいた介入方法で、「ちょっといいこと」を生じさせる秘訣が満載されています。なんだか難しそうと思われるかも知れませんが、イラストや図表が豊富で、事例集もあり、とてもわかりやすく説明されています。困ったときには、ぜひご一読を！

大竹昭裕先生



『陪審 15号法廷』
和久峻三
ケイブンシャ文庫
2001
913.6||W35

今年5月からスタートした裁判員制度は、一般国民から無作為に選ばれた裁判員が重大な刑事事件で裁判官とともに有罪・無罪の決定と量刑判断を行うものですが、国民の刑事裁判参加の典型とも言える陪審制度が戦前の日本に存在していたことを知っているでしょうか。本書は、戦前日本の陪審制度がどのようなものであったかを肩肘を張らずに学ぶ絶好の法廷推理小説です。最近、光文社文庫からも刊行されています。

大竹昭裕先生



『霧の旗』
松本清張
新潮文庫(41刷改版)
2003
913.6||Ma81

1959~1960年に『婦人公論』に連載された作品ですが、新潮文庫からの刊行は1972年です。「殺人容疑で捕えられ、死刑の判決を受けた兄の無罪を信じて、柳田桐子は九州から上京した。彼女は高名な弁護士大塚欽三に調査を依頼するが、すげなく断られる。兄は汚名を着たまま獄死し、桐子の弁護士に対する執拗な復讐が始まる(手元にあるかつて読んだ文庫本のカバーより)。上記推薦書からの刑事裁判つながりですが、弁護士のあり方や法の限界など様々なことを考えさせられます。山口百恵主演で映画化もされています(若い皆さんにはチョット古い?)。



『事件』
大岡昇平
新潮社
単行本 1977
文庫本 1980
913.6||069

ここまでくれば、完全に刑事裁判つながりでもう1冊。裁判における<真実>とは何か、裁判は<真実>に到達できるのかを問うた作品です。これも永島敏行、松坂慶子、大竹しのぶなどの出演で映画化されました。単行本は1977年に新潮社から出版され(貧乏学生だった私には単行本は高価でしたが、買って読みました)、その後文庫化されましたが、現在は品切れ状態かも。筑摩書房から刊行されている『大岡昇平全集6 小説』に収録されているようです。

大和田猛先生



『いつだって心は生きている：大切なものを見つけよう』
認知症ケア研究会
中央法規出版
2006
493.758||N76

認知症高齢者のケアを考える上ではとても読みやすい本です。



『おばあちゃんどこいくの?』
やまとせいすい作、よりくにさとし絵、本間昭監修
(株)ワールドプランニング
1992
493.758||Y45

認知症高齢者ケアを考える上で参考になる絵本です。

看護学科

理学療法学科

社会福祉学科

栄養学科

大和田猛先生



『おばあちゃん』

大森真貴乃

ほるぷ出版

1987

726.6||063

認知症高齢者のケアを考える上で貴重な絵本です。

浅田豊先生



『栄養教諭養成における実習の手引』

田中信

東山書房

2007

498.59||E39

本書では、栄養教諭の使命にはじまり、学習指導要領の基本的な考え方と健康教育との関わり、栄養・衛生・安全面などの管理の重要性、指導の実際、教育実習生としての心構え、評価の観点等が体系的にまとめられています。図表を多く用い、指導案や実習に関わる諸記録・様式例を具体的に紹介しているため、読みやすくまた活用しやすくなっているのが特徴的です。

肥満、偏食、食物アレルギーなどの児童生徒に対する個別指導を効果的に実践でき、同時に学級活動、教科、学校行事等の時間に、学級担任等と連携して集団的な食に関する指導を円滑に実施でき、子どもの生きる力の涵養に貢献できる人材の育成に、本書がその一助となれば幸いです。

浅田豊先生



『ロールズ：正義の原理』

川本隆史

講談社

2005

321.1||R18

主体性や連携・協調の精神等とともに、保健医療福祉の実践に携わる人たちに不可欠な資質として、正義の心が含まれると思います。それは、患者・利用者の尊厳と秘密を守り、正直な説明を行い、また人々の健康を保持・増進し皆が安心して生活できる社会づくりに貢献し、社会正義を実現していくことが求められるからです。

本書では、道徳的判断の特性・基準や人間の行為の正義・公正原理、社会契約説の捉えなおし、社会参加とフェアプレイの精神、社会的財・分配の改善や互恵性を含んだ民主的平等・格差原理、市場経済と雇用の安定、政治的リベラリズムと市民の権利、戦争のルール、合理的な人生計画などが総括・解説されています。ヒューマンケアの専門家にとって有益な一冊になると思います。

浅田豊先生



『「家族愛」、その精神病理：依存の心理と孤独の心理』

大原健士郎

講談社

1996

493.71||027

本書では、現代社会に多発する種々の病理に対応するためのヒント、新しい家族のあり方を考える基礎的な道筋が含まれているとともに、家族成員間に即ち家族という一共同体単位内に生成される病や、人間の性格と遺伝・環境の要素、理想の家庭像、人間のメンタルヘルスケア・セラピーの方法、人間にとっての真の幸せを考える手がかりなどが、丁寧にかつ詳細に、また段階的に説明されています。ほぼ毎頁のように、分かりやすいイラスト(挿絵)、グラフ、画、写真、詩、事例が含まれ、多面的多角的に内容が理解できるため、読み進める楽しさがあります。

タイトル中の言葉でもある愛とは、無償・無条件・無限のものであり、対象をいとおしく思い心理的に離れがたいこと、あるいは相手の全てを受け入れて守りぬくことを意味すると思います。本書が一人の人間として、また同時に保健医療福祉専門職従事者として、対象とのコミュニケーションや家族観、さらに進んで社会、救い、人間同士の支え合いの精神を考え直す土台になれば幸いです。

向井友花先生



『ポッコちゃん』

星新一

新潮文庫(改版)

1987

913.6||H92

世界一短い小説として「ショートショート」というジャンルがあります。星新一は日本のショートショートの第一人者とも言える作家で、生涯に 1000 編以上の作品を遺しました。「ポッコちゃん」はその代表作で、文庫 1 冊に 50 編もの短編小説が収められています。星製薬の創始者を父に持ち、自身も農芸化学を学んだ星新一の作品は、短い中に多彩な科学的アイデアが盛り込まれた SF 小説です。ほぼ全作品を集めるほどのめり込んでいたのは私が子供の頃ですが、今読んででも全く古臭さを感じない、むしろ斬新な発想に驚かされます。たった数ページでワクワクしたり感動したり、意外な結末に驚いたり。かなりオススメです。

“各種データベース等の紹介”

📍 これまで、ラポールの「シリーズ図書館を使いこなそう」では、個々のデータベースの利用方法や電子ジャーナルの使い方について説明してきました。今回は青森県立保健大学で利用できるデータベースや電子ジャーナルなどの電子資料についてまとめて解説します。目的に合ったデータベースや電子ジャーナルを選択して、活用してください。

データベース

医中誌 Web(学内限定)

<http://campus.auhw.ac.jp/tosyo/ejat.html>

国内発行の雑誌に掲載され文献(会議録も含む)を収録した医学文献データベースです。分野は医学・薬学・歯学・看護学・獣医学で、約2,700誌(改題や休刊・廃刊した雑誌を含めると、約5,000誌)に掲載された文献の書誌事項や抄録を検索することができます。

本文へのリンク	あり(一部閲覧できないものもあります)
更新頻度	月2回
利用ガイド	・ 医中誌 Web (Ver.4) 検索ガイド (医学中央雑誌刊行会) http://www.jamas.or.jp/user/img/pdf/guide4_ver3.pdf ・ 文献を探そう! その1「医中誌 WEB (Ver.4)」(本学図書館) http://campus.auhw.ac.jp/tosyo/ichu.pdf
同時アクセス数	8 * 利用後は必ず「終了」ボタンをクリックしてください。

CiNii(学内限定)

<http://ci.nii.ac.jp/>

大学紀要、学協会誌などに掲載されている文献の書誌事項や抄録を調べることができる日本の学術論文のデータベースです。一部、文献の本文全文を閲覧することができます。機関リポジトリや本学蔵書検索へのリンクもあります。

本文へのリンク	あり(一部閲覧できないものもあります)
更新頻度	随時
利用ガイド	・ クイックガイド (国立情報学研究所) http://ci.nii.ac.jp/info/ja/manual_outline_quickguide.pdf
同時アクセス数	無制限

最新看護索引 Web(学内限定)

<https://www.libraryplus.jp/bcs/li/>

国内発行の看護および周辺領域の雑誌・大学紀要に掲載されて文献の中の看護の実践・研究・教育に関する文献の書誌事項を検索することができます。

本文へのリンク	なし
更新頻度	月1回
利用ガイド	・最新看護索引 Web マニュアル：機関用（日本看護協会） http://www.nurse.or.jp/nursing/education/library/pdf/web2.pdf
同時アクセス数	1 *利用後は必ず「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

雑誌記事索引

<http://opac.ndl.go.jp/>

国立国会図書館所蔵の和文雑誌に掲載された記事の文献情報を検索できるデータベースです。全分野を網羅しており、学術雑誌以外の雑誌記事も検索できるものがあります。

本文へのリンク	なし
更新頻度	週1回
利用ガイド	・文献を探そう！その3「雑誌記事索引」(本学図書館) http://campus.auhw.ac.jp/tosyo/zassaku.pdf
同時アクセス数	無制限

PubMed

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez?db=pubmed>

米国国立医学図書館（NLM:National Library of Medicine）が提供する生物医学系文献データベースです。

本文へのリンク	あり（フリーのものと契約している電子ジャーナルのみ閲覧可能）
更新頻度	火曜日から土曜日の毎日
利用ガイド	・文献を探そう！その4「PubMed」(本学図書館) http://campus.auhw.ac.jp/tosyo/pubmed.pdf
同時アクセス数	無制限

CINAHL (学内限定)

<http://campus.uhw.ac.jp/tosyo/cinahl.html>

米国の英語文献を中心に作成された看護学領域のデータベースです。雑誌文献以外にも図書、パンフレット、視聴覚資料、学位論文、看護業務基準、クリティカルパス、測定用具(尺度)など多彩な資料の情報を検索することができます。

本文へのリンク	なし
更新頻度	週1回
利用ガイド	・文献を探そう! その4「CINAHL」(本学図書館) http://campus.uhw.ac.jp/tosyo/cinahl2008rev.pdf
同時アクセス数	1 * 利用後は必ず画面右上の「大学のロゴマーク」をクリックしてください。

聞蔵 ビジュアル (学内限定)

<http://campus.uhw.ac.jp/tosyo/kikuzo.html>

朝日新聞、AERA、週刊朝日、知恵蔵の記事を検索できます。

本文へのリンク	あり(一部表示できない記事があります)
更新頻度	毎日
利用ガイド	・聞蔵 ビジュアルの使い方(朝日新聞社) http://database.asahi.com/library2/main/help/help.html
同時アクセス数	1 * 利用後は必ず画面右上の「ログアウト」をクリックしてください。

電子ジャーナル

■ メディカルオンライン (学内限定)

<http://campus.uhw.ac.jp/tosyo/mol.html>

国内の学協会・出版社発行の雑誌に掲載された医学、歯学、薬学、看護学、医療技術、栄養学、衛生・保健などの医学関連分野の文献を検索し、必要な文献は本文全文を閲覧、ダウンロードすることができます。

利用ガイド	・メディカルオンラインについて (本学図書館) http://campus.uhw.ac.jp/tosyo/mol.pdf
-------	--

■ J-STAGE

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>

科学技術振興機構（JST）による、国内の科学技術情報関係の電子ジャーナル発行を支援するシステムです。学協会発行の電子ジャーナルで、フリーで提供されているものは本文全文を閲覧、ダウンロードすることができます。

■ Journal@rchive

http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/top_ja.php

科学技術振興機構（JST）で運用している J-STAGE のアーカイブサイトで、JST が平成 17 年度から実施している電子ジャーナル事業において電子化した学術雑誌の文献の本文全文を閲覧、ダウンロードすることができます。

■ 厚生労働科学研究成果データベース

<http://mhlw-grants.niph.go.jp/>

厚生労働科学研究費補助金等で実施した研究報告書の抄録と本文全文を閲覧、ダウンロードすることができます。本文全文は平成 10 年度研究課題の報告書から掲載されていますが、すべての研究課題が掲載されているわけではありません。

■ ProQuest Health and Medical Complete (学内限定)

<http://campus.auhw.ac.jp/tosyo/phmc.html>

臨床系商業誌を中心とし、看護、公衆衛生を含む医学周辺領域を網羅しており、約 1,100 誌の学術雑誌の文献の本文全文を閲覧、ダウンロードすることができます。

青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第 13 号

平成 21 年 10 月 発行

発行者 青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

電話 017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/140library/index.html>